

教員名	和田 英信 (WADA Hidenobu)
所 属	人間文化研究科比較社会文化学専攻国際文化論講座
学 位	文学修士 (1987)
職 名	助教授
URL / E-mail	wada@cc.ocha.ac.jp

## ◆研究キーワード

中国文学 / 詩学 / 詩話 / 和漢比較文学 / 日本漢学

## ◆主要業績

総数 ( 4 ) 件

- ・論文 (単著)「中国の詩話、日本の詩話」 (『お茶の水女子大学中国文学会報』25、2006年4月)
- ・論文 (単著)「建安文学をめぐる」 (『三国志研究』1号、2006年12月)
- ・論文 (単著)「聯句から次韻へ——中国における〈座〉の文学」 (『アジア遊学』95 和漢聯句の世界、2007年1月)
- ・論文 (単著)「〈文話〉について——〈文章読本〉源流小考」  
 (「魅力ある大学院教育」イニシアティブ——〈対話と深化〉の次世代女性リーダー育成・平成18年度活動報告書・海外研修事業編、2007年3月)

## ◆研究内容

本年度は、新たに発足した三国志学会の第一回大会(2006年7月30日)において「建安文学をめぐる」という主題で報告を行い、その内容を『三国志研究』第一号に論文として発表した。建安期(後漢末)の五言詩がそれ以前の古詩や樂府とどのように異なるのかをテキストに即して分析したものである。また雑誌『アジア遊学』の「和漢聯句」特集号の刊行に際して、「聯句から次韻へ——中国における〈座〉の文学」という論考を掲載した。中国における〈座〉の文学の特質を、唐代の聯句と宋代の次韻詩の分析を通して明らかにしたものである。さらに「魅力ある大学院教育」イニシアティブの活動の一環として、ロンドン大学との共同シンポジウムに参加し、現在広く流通している〈文章読本〉という著述カテゴリーが、かつて〈文話〉と称して行われていたことを考察した。このほか、比較日本学研究センターのシンポジウム「比較日本学研究の対話と深化」において、「日中比較詩学の視点」というテーマでのセッションを主宰した。

## ◆教育内容

大学院教育においては、論文博士一名、課程博士一名の主任指導にあたり、当該学生はそれぞれ学位を取得した。また大学院の授業においては、中国の古典的文学論の特質につき、関連テキストを講読した。さらに課外において月一回の読書会を組織し、王安石の絶句を読み進めている。この読書会はお茶の水女子大学の院生のみならず、他大学の院生・教員も参加している。学部教育については、中国語ならびに中国古典文学史のほか、中国文学・語学専攻の学生に対して、講読・演習等の授業を行った。

## ◆将来の研究計画・研究の展望

---

現在進行している、あるいは構想中の研究テーマの一つは、日本における中国文学論の受容についてで、江戸期の日本人による詩話著作の整理・分析を進めている。また、中国の文学史論については体系的な論文の執筆を計画中である。

## ◆受験生等へのメッセージ

---

三千年を超える歴史——中国古典文学の豊かな世界を一緒に探検したいと思います。